



2012 J.League Division2 第3節 ザスパ草津 戦

3/17(土) 16:00~
@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

F C 岐阜大好き通信 (岐大通)
3/17号
編集発行: 『岐大通』製作委員会
今号の製作担当:
ささたく & 吉田 鑄造

today's guest : ザスパ草津 2011 J2 16勝 9分 1敗 勝ち点 57 第9位

群馬県リーグで活動していた『リエゾン草津』が母体。2002年から『ザスパ草津』として強化開始。関東リーグ2部時代に「Jリーグ加盟を標榜するクラブに対する優遇措置」を活用して地域リーグ決勝大会に参戦し優勝、JFL昇格。JFL1年目の2009年シーズンで3位の成績を収め、翌年からJ2（昇格はJFL2位までだったが、2位のHondaFCと勝ち点・得失点差が同じだった）。同年の天皇杯ではJリーグ王者の横浜F・マリノスに勝ちベスト8。J2での最高成績は2008年と1年の9位。（吉田 鑄造）

ホーム鳥取戦で2失点、アウェイ徳島戦で3失点と、守備面での課題が開幕から2試合で浮き彫りになったF C 岐阜。今季のチームは監督交代や大幅に選手を入れ替えたので、守備の構築には時間がかかるが、それでも早急に修正が必要だ。徳島戦での敗戦後に「（守備の構築を）またやり直さなければ」と語った行徳監督。その手腕や選手起用で、今節はどのような変化が生まれるのか。また、3名の新たな加入選手が発表されたが、キム・ジョンヒョン選手はすぐにスタメンで出場し、樋口寛規選手には10番が与えられた。選手同士で競い合い、チーム力の向上を図らなければならないF C 岐阜。今節のスタメンは誰になるのか、そして出場した選手たちの奮起に注目したい。

一方の草津は、前節はホーム湘南戦を落としたものの、2試合で4得点と、攻撃陣は好調だ。昨シーズンのチーム得点1位のアレックスと2位の萬代は移籍しているが、副島監督3年目の今季、FWリンコンやMF熊林は引き続き要注意だし、開幕戦で2ゴールを決めている新加入のMF # 10 ヘルベチの左足にも警戒が必要だ。草津の攻撃を岐阜の守備が防ぎきり、ホーム長良川で今季初勝利となることを期待したい。（ささたく）

Looking back 2011

第6節 10/19 @正田醤油（前橋）
2-4 得点：田中・佐藤

第35節 11/13 @長良川
0-1

東日本大震災によって延期、水曜開催となった試合。前節で横浜FCとの壮絶な打ち合いを4-3で制し、連勝を狙ったが、疲労の蓄積からか守備の破綻をことごとく突かれ、いいところなく敗戦。

前節で岡山に勝って帰って臨んだホーム戦。シュート数では13本対9本と上回ったものの、CKからゴール前で両サイドに振られて最後はヘッドで押し込まれる。（吉田 鑄造）

開幕戦の試合前のお話。

試合開始前。屋台村での楽しい会食で盛り上がるF C 岐阜サポーターのもとにテレビ局の取材陣が現れた。NHK岐阜でもぎふチャンネルでもない、そのテレビ局はCTY。三重県・四日市市のケーブルテレビ局だった。

F C 岐阜には四日市大学卒業の選手が2名いる。DFの野垣内とFWの佐藤だ。2人とも在学中に特別指定選手としてF C 岐阜に所属し、卒業後もF C 岐阜でプレー。特別指定選手時代を含めれば、川島真也に次いで古くから在籍している選手になる。

取材陣のカメラに対し、サポーターは佐藤のチャントを披露して応える。選手の出身地のメディアが取材に訪れてくれるのは嬉しい。野垣内も佐藤もスタメン出場。佐藤はゴールも決めてくれた。CTYはいい画が撮れたかな？（吉田 鑄造）

鳥取戦の試合当日の正午頃、JR東海道線の木曾川駅付近で人身事故が発生し東海道線は上下線とも運転見合わせ。いたるところで立ち往生した車内に取り残された岐阜サポや、見ず知らずの鳥取サポさんの窮状をソーシャルネットワーク（早い話がツイッターですね）で知った岐阜サポ有志が「仲間を試合開始に遅らせてなるものか」と岐阜駅までクルマを出し会場の長良川競技場まで送迎する、という一幕がありました。

この話は瞬間に「J開幕時の心温まるエピソード」としてインターネット上に拡がり、サッカーを愛する者同士の絆を再確認することになりました。だれもが出来るような行動ではないけれど会場に集まるみんなは敵味方の区別無く同じ時間と空間を共有する仲間です。このことはいつでも胸に秘めておきたいですね。（TAG）

試合については次の面から！

2011J2 順位表 第2節

勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績（岐阜から見て）

1	徳島	6p	+3	5	1	A
2	湘南	6p	+3	5	2	
	甲府	6p	+3	5	2	
4	水戸	6p	+2	3	1	
	福岡	6p	+2	3	1	
6	愛媛	4p	+2	2	0	
7	大分	3p	+2	5	2	
8	京都	3p	+1	3	2	
9	東京V	3p	0	3	3	
	熊本	3p	0	3	3	
11	千葉	3p	0	2	2	
12	草津	3p	-1	4	5	
13	山形	3p	-1	2	3	
14	岡山	2p	0	1	1	
15	鳥取	1p	-1	3	4	H
16	横浜FC	1p	-1	1	2	
	富山	1p	-1	1	2	
	北九州	1p	-1	1	2	
19	岐阜	1p	-3	2	5	==
20	松本	0p	-3	1	4	
21	町田	0p	-3	0	3	
22	栃木	0p	-4	1	5	



本庄工業株式会社

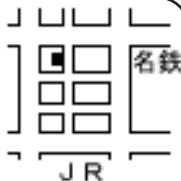
<http://www.honj-woodream.com/>



何も無い店だけど・・・
心の花が咲く・・・
何も無い店だけど・・・
心癒される・・・
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目（木ノ本公園東）

「いらっしやいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。



休：日曜日（今日は営業しています）

投稿募集！

gidaidohr@hotmail.co.jp

次回 HomeGame

第5節 大分トリニータ戦

3/25(日) 18:00

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

【第1節】岐阜2-2鳥取

いよいよ今年のシーズンが開幕。PSMでジュビロに勝った勢いで開幕戦勝利と行きたかったところだが、残念ながら結果は2-2の引き分け。好材料と反省点が両方浮き彫りになったゲームだった。

まずは良かった点、攻撃に運動性が生まれるようになってきている。そして1点目のGのシーン。Gの前に入った池田が相手を2人うまく引き連れて(ファール臭かったが(笑))廻の動きをしたところに洗一が飛び込んでのゴール。久しぶりにセットプレーで綺麗なゴールが見られた。

そして廣田。PSMに続いて先発に抜擢されたのも驚きだったが、ドリブルやボール捌きなど予想以上のものを見せてくれた。次に課題点。積極的にオフサイドトラップを仕掛けようというのは分かるが、セルフジャッジして足を止めないで、笛が鳴るまでしっかりプレーをやりきってほしい。

そして昨年来言われてることだが、セットプレーでのディフェンスの対応がまだまだ。日々の練習で習熟を重ねてほしい。

それと後半足がパタッと止まって押し込まれる場面が多かった。更なるフィジカル面の強化が必要だと思う。基本的なプレーなども正確性を増してほしい。

最後にイエローカードを貰った恭平のプレー、あれはいただけない。今年はボールを動かすプレーを多くするというのを主眼に、こういったプレーは厳しく対処されると思われるので万全の注意をはらってもらいたい。

(岐阜の誇り)

ついに、待ちに待った2012シーズン開幕!そして、今季の目玉?先行入場前からの屋台村開場。「今シーズンもよろしくお願ひします!」と、声をかけながらの心躍るひととき。選手入場時に掲げた既存のユニフォーム型フラッグに加え、縦20m×横40mのビッグフラッグも雰囲気盛り上げ役を十二分に担ったのだが、天候だけが非協力的だったのが残念だ(苦笑)。大幅な選手の入替えを行ったこともあり、新加入の選手が目立つスタメン。入りはワルくなかったように見えたが、アッサリと失点。それでも、2012シーズン初得点となった洗一のゴールはバツグンに鮮やかだったし、PSMの関田に続いてのセットプレーからの得点ということに、昨年とはまったく違う手ごたえを感じ、さらに前半のうちに逆転できたことにいっそう期待も感じていたのだが.....

後半になって思いもかけないオウンゴールで同点に追いつかれてからは鳥取に主導権を握られ、なんとか勝ち点1を拾ったともいえる内容。もちろん、前述した大幅な入れ替えによって実戦でのコンビネーションが構築できていないというエクスキューズもあるだろうし、初の台湾キャンプから宮崎への移動による体調管理の難しさもあって、万全の状態では臨めたワケではないのかもしれない。それでも、昨年と比較して、チームとしてやるべきこと、共通の意識が感じられたことは素直によかったと思う。

それでも、仲間の言葉を借りれば「戦う相手は昨季の岐阜ではなく、今季の21クラブ」ということを忘れてはいけない。岐阜が成長しても他クラブが同じ伸びを示せば逆転は困難。降格圏内から抜け出すためには、他クラブより大きく伸びることが必須。選手全員がコンディションを整え、そのうえでレベルの高いスタメン争いをしてこれからの試合に臨んでくれることを期待する。開幕戦の引き分け、勝ち点1を生かすも殺すも選手次第。そして一日も早く万歳四唱できることを願ってます!

それにしても、イイ感じだったな。ビッグ・フラッグ。

(ぐん、)

もし、開幕戦の対戦相手が「昨年のFC岐阜」だったら.....3-2で勝利、かな。4-2かもしれない。染矢と関田の左サイドのコンビネーションもいい感じだし、廣田の突破力にも期待大。そして、とにかく服部から繰り出されるキックの精度。FC岐阜の試合を観ていて「セットプレー」でこんなにわくわくするのはいつ以来だろう(笑)。

でも、問題は「2点取られるかな」という部分。押谷の個人技でやられ、嶋田と西川のコンビに崩されてやられる(苦笑)。そんな絵が浮かぶようなDFでもあった。

結局、鳥取はハメドが直前に契約非更改になったこと、コストリカ代表クニガムが直前までウェールズにいたからか途中出場もなかったこと、そして鳥取の吉澤監督が選手交代のカードを1枚も切らなかったことで引き分けで終わった。そんな感じも残る開幕戦だった。チームは着実に成長している。でも、その効果が結果に顕れるのには、もう少し時間がかかるかもしれない。

(吉田鑄造)

【第2節】徳島3-0岐阜

現地で見てないので、一言だけ。先発のCBが怪我もしてないのに交替させられることがどういうことであるかということ、しっかり認識していただきたい>代えられた選手。

(岐阜の誇り)

とんでもないシュートを見てしまった。アレが「鳴門の渦潮」なのか.....

今季最初のアウェイ戦。徳島のホーム、ポカリスエット・スタジアムは海辺という立地条件もあってか、このほか風が強く、時にゴールキックがセンターラインにも届かないような天候の中で終始した。

キックオフから十分ほどは優勢に試合を進めていたかのように見えたが、一瞬のスキを突かれて失点。しかも、不十分な体勢から放たれたシュートは楽勝で枠を外すように見えたが、途中からあり得ない軌道を描いてゴールネットを揺らしてしまう。体を投げ出して防ごうとした関田の足がわずかに触れた影響か、とんでもない逆回転のひとつひとつが海峡に逆巻く渦潮のように思えた。良くも悪くも、関田はこれでPSMから3試合連続で点に絡んだことになる(苦笑)。ただ、あそこでしっかり詰めていたからこそ結果であり、これからは恐れることなく果敢にチャレンジしてほしい。なにしろ、彼の高さで左利きという特長は相当有効になるはずだ。不慣れなポジションだとは思いますが、チームには服部というまたとないお手本がいる。しっかり学んでもらいたいね。

0-3という結果は数字だけ見れば、現状ではやむなしかとも思う。昨季、すんでのところ昇格を逃した徳島は選手の補強も万全な上に、指揮官に実績十分な小林・前山形監督を迎えている。彼等の戦力差はかなりあると思うが、それでも後半開始早々の3失点目はいただけない。精度の高いキックではあったが、出るのか待つのか、中途半端になったような気がする。ああいう失点を防ぐことが上位進出の第一歩。無駄な失点をなくすことが勝ち点0を1に、1を3にすることにつながるはず。もっともっと、集中力を高め連携を深めてほしい。

このあと草津、湘南、熊本と調子のよさげな相手が続くが、臆することなく戦ってくれることを期待する。

あ、それから。いきなり、スタメンのジョンヒョン。予想を上回る出来だった。枠を外したけど、あの位置からミドルを狙えるのは頼もしい。相手にも警戒心を与えることになるだろう。これからは楽しみだ。

(ぐん、)

「実は」というべきか「周知の事実」というべきか、アウェイ徳島戦では成績の良くないFC岐阜。単にイメージだけかと思っただら、2008年には1-0で勝利して(この年の徳島は最下位だった)いるものの、2009年1-3、2010年0-4、2011年1-4、更に言えば2007年の天皇杯でも0-2で敗戦と、成績の悪さがデータでも証明されてしまった(苦笑)。

今年こそは勝つ...と現地向かったものの、アウェイの地・徳島ポカスタは海の近くにあるためか、3月中旬なのに寒いやら、強い風が吹いてるやら、小雨が降ってくる(しかも時々晴れる)やらで、アウェイ側チームとしては非常にやりにくい環境。サポーターとしても大変だった(苦笑)。特に、吹く方向や強弱が刻々と変化する風の影響だろうが、岐阜の選手にはミスキックやボールの目測を誤ったシーンが多かったように思う。

さて、試合はといえば...「徳島は、開幕戦でのうちの弱点を研究して的確に突いてきたなあ...」というのが個人的な感想。左サイドのルーキー関田の側を徹底的に狙ったり、CBの間にボールを放り込んだりして、最終ラインを崩す狙いが明らかに見て取れた。事実、1失点目と2失点目は、(どちらも確かに敵FWのテクニクを誉めるべきゴールだったかもしれないが)CB2人のバランスを崩された失点だった。

前半で2失点したが、しかし「0-2は危険なスコア」との格言(?)もあるので、後半に期待...と思ったが、後半開始早々にセットプレーで失点してしまい、完全に試合の優劣を決められてしまう。あの場面も、なんとなく開幕戦での失点シーンと似たような感じがしたのは僕だけだったろうか。

そんな試合ではあったが、(まだ上手くはいないが)チームの戦い方には意図が感じられた。ただ、もっとゴール前でシュートを狙ってもよかったような...。また、先日加入が発表され、即スタメン入りした金正賢には驚いた。プレーの質もそうだが、試合終盤に何度も足が付きながら(3人交代枠を使い切っていたので)最後まで走り回り、ミドルシュートまで撃つ精神的タフさは、このチームに更なる刺激を与えてくれそうな気がした。

(ささたく)